

入場無料

第8回関東森林学会大会 公開講演

「森林から丘陵、平坦地へ 拡大する野生動物被害」

平成30年10月22日(月) 13:00~14:00

東松山市民文化センター 1階大会議室

講演者 古谷益朗 氏 (埼玉県農業技術研究センター)

ふるや ますお

古谷益朗 氏

プロフィール

埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理担当
鳥獣害防除研究チーム 担当部長

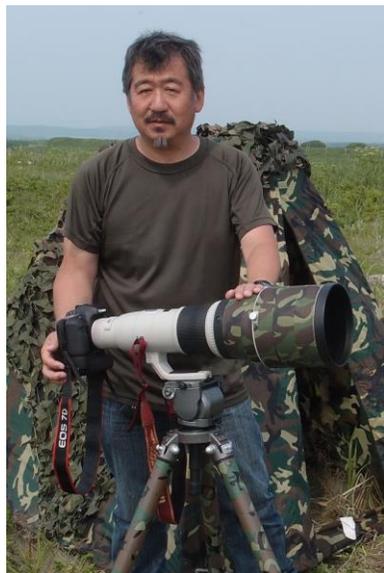
埼玉県出身。専門は動物行動学。

2002年から野生動物による様々な被害を回避するための技術開発に取り組む。特にハクビシン、アライグマの対策については全国に先駆けて取り組み、侵入防止柵「白落くん」「楽落くん」の開発・普及など現在までに多くの成果をあげている。

「鳥獣害対策成功のカギは係る人の意識改革」とのことから、現在は全国規模で「正しい事実と正しい技術」の研修や現地指導を行っている。農林水産省農作物鳥獣被害対策アドバイザー。

主な著書等

- ・「ハクビシン、アライグマ『おもしろ生態とかしこい防ぎ方』」
農村文化協会
- ・「なぜ、ハクビシンとアライグマは急にふえたの」
農村文化協会
- ・「野生動物被害対策マニュアル」
(共著)農林水産省
- ・「中型野生動物の行動特性および被害対策」
アニマルケア国際学会
- ・テレビ出演多数



問い合わせ先:埼玉県寄居林業事務所 原口・森田

☎ 048-581-0123

主催 関東森林学会
後援 東松山市